Ⅰ　研究の内容

研究の全体構想

〔学校教育目標〕
〇かしこく　基礎・基本を定着させ、向上心と自主性のある実践力を培う
〇やさしく　あらゆるものへの感謝の心を大切にし、協調性を培う
〇たくましく　心身ともにたくましく、ねばり強い力を育成する

〈児童の実態〉
・計算問題に進んで取り組む児童が多い。
・学習の中で、自分の考えを伝え合うことができるようになってきている。
・基礎的・基本的な知識や技能の定着に個人差が見られ、意欲にもばらつきがある。

〈教師の願い〉
・基礎的基本的な知識及び技能を身に付けてほしい。
・自分の考えをもち、図や言葉や式を関連付けて表現したり、伝え合ったりできるようになってほしい。

研究主題

自ら考え、進んで表現できる子の育成
～算数的活動の充実（ＩＣＴの活用を通して）～

めざす児童像

低学年	中学年	高学年
• 算数的活動を通して、自分の考えをもち、表現する子	• 算数的活動を通して、自分の考えをもち、わかりやすく表現する子	• 算数的活動を通して、自分の考えをわかりやすく伝え合い、考えを深め合う子

算数科の目標
　算数的活動を通して、数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、日常の事象について見通しをもち筋道を立てて考え、表現する能力を育てるとともに、算数的活動の楽しさや数理的な処理のよさに気付き、進んで生活や学習に活用しようとする態度を育てる。

さいたま市の算数科における指導の努力点より
・算数的活動の一層の充実を図り、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に定着させるとともに、自分の考えたことを表現したり、友達と伝え合ったりする活動等の充実を図る。
・個別指導やグループ指導、学習内容の習熟の程度に応じた指導等を効果的に取り入れる。

【研究の仮説】　算数的活動を充実させれば、算数を学ぶ意欲が高まるとともに、基礎的・基本的な知識・技能の習得及び思考力・判断力・表現力が育成され、自ら考え、進んで表現する児童が育つであろう。

〈視点１〉 算数への興味・関心・意欲を高めるための指導の工夫	•教材教具の工夫、ICTの活用の工夫 •問題提示の工夫
〈視点２〉 基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための指導の工夫	•個に応じた支援と評価の工夫 •少人数指導、TTの充実
〈視点３〉 問題解決に必要な思考力・判断力・表現力を高めるための指導の工夫	•学習過程の工夫・定着 •伝え合い活動の工夫、学習形態の工夫